



八王子市 片倉城跡公園 散策案内



ヤマブキシソウ



イチリンソウ



カタクリ



アズマイチゲ



菖蒲田

片倉城跡公園は、東京都指定文化財である旧跡片倉城跡と周辺の優れた自然環境の保全を目的として、昭和47年に開園した市立公園です。面積は約 1ha に及び、上の広場周辺の空堀などに城跡の遺構を見ることができます。豊富な動植物にも恵まれ、四季を通じて様々な自然に親しめます。特に春にはカタクリ、ヤマブキシソウ、ショウブ類等の美しい花々が次々と移り替わりながら咲くほか、カワセミ等の野鳥、ホタル等の昆虫や水棲生物など、多くの生物も見られます。また彫刻家の北村西望の彫刻や西望賞受賞作品が展示され、丘陵地の雑木林の遊歩道を歩きながら、これらを楽しめる公園です。



ヒトツバタゴ (ナンジャモンジャノキ)

◆ 片倉城跡公園にある彫刻

昭和50年代半ば、「市内の街頭や公園に彫刻を」と“彫刻のある街づくり”が進められた際、日本彫刻会主催の「日彫展」に設けられた“北村西望賞”受賞作品を野外展示する「彫刻公園構想」が進められました。彫刻家・北村西望が本公園を気に入り、展示場所として自ら選定されました。

昭和57年の除幕式では「彫刻は三千年も保ち、年代に負けない。三千年も大事にもらえることはありがたい」と喜びを語ったそうです。公園内には計19体の彫刻があり、そのうち『浦島一長寿の舞』が西望の作品です。風格のあるこれら彫刻群は豊かな自然の緑を背景に、公園に文化の薫りを添えています。



彫刻の展示場所



～彫刻家・北村西望～
(1884～1987)

彫刻家。明治17年生まれ、長崎県出身。東京美術学校（現東京芸術大学）彫刻科を卒業。日本を代表する美術家のひとりで、代表作である長崎の「平和祈念像」や「浦島一長寿の舞」を始め数多くの作品を残した。昭和33年文化勲章・文化功労者を顕彰。昭和55年名誉都民となった。昭和62年に102歳で逝去。武蔵野の自然、特に緑豊かな八王子の自然を、こよなく愛した。

◆ 片倉城跡公園の管理

● 公園の区域ごとの特徴を明確にしながら管理を進め、魅力を増し、環境を保全して行きます。

- 動植物を保全しつつ里山管理を進める区域
- 公園の動植物を展示し親しむ区域
- 休養や遊びに利用する区域



● 誰もが安心して利用できる公園を目指します。

● 動植物を保全し、環境や景観への配慮を行ない管理します。
園内発生材の再利用による資源循環・有効利用、動植物の保全、園路沿いのソデ群落の再生、多様な生物と共生にした菖蒲田の管理方法の検討、風土性のある景観づくり等に取り組んでいます。



落ち葉の堆肥化・間伐材の利用



伐採した竹を活用して修景



間伐材を利用した土留め

◆ 次のことを守って ご利用ください。

- ① 動植物を持ち帰ったり、傷つけるのはやめましょう。
- ② 犬(ペット)の飼い主の方は、園内では必ずリードをつけてください。
- ③ ペットのふんは持ち帰って下さい。ビニール袋やティッシュに包んでトイレに流すと、詰まりや故障の原因になります。
- ④ 鳥や魚等、生き物にエサを与えないでください。
- ⑤ 危険な生き物(ハチ、ヘビ等)を見かけても、刺激しないでください。
- ⑥ 散策路や広場以外は入らないでください。
- ⑦ 夜間の散策は危険ですので、ご遠慮ください。
- ⑧ 花火や焚火など火気の使用はできません。

◆ アクセス

国道16号沿いに公園入口の表示があります。

- JR 横浜線：JR 片倉駅より約300m・徒歩約5分。国道16号を渡って北へ50m。
- 京王高尾線：京王片倉駅より約550m・徒歩約6分。国道16号を南へ。

※ 駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



◆ 問い合わせ先

- (ニュータウン地区公園指定管理者)
● ニュータウンアーバンビレッジパーク
〒192-0906 八王子市北野町582-1
TEL 042-649-8300
- 八王子市 まちなみ整備部 公園課
〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目24番1号
TEL 042-620-7271

八王子市 まちなみ整備部 公園課